

# 福津ふしぎ発見



## 山城の形状を色濃く残す許斐山 このみやま

宗像市との境界に位置し、身近な登山コースとして人気のある許斐山。今も頂上の近くには、戦国時代に築かれた山城の構造が色濃く残っています。



▲許斐山山頂からの眺望

八並区にある許斐山は、宗像市との境界に位置する歴史のある山です。12世紀に宗像大宮司家が山城を築き、戦国時代の16世紀には、この城をめぐって激しい攻防が繰り返されました。今も頂上の近くには外敵の侵入を防ぐために作られた切岸や堀切などの構造が残っています。進行を阻害するために斜面を削り、崖を作って回り道をさせるなど、実に巧みに作られています。また、当時金魚を飼っていたと言われる金魚池の跡もあります。

登山道入口は福津市側と宗像市側の合わせて4カ所あり、福津市側は吉原と八並東にあります。吉原登山口から頂上までは30分ほどで登ることができ、身近な登山コースとして人気です。標高271mの頂上からの眺めは素晴らしく、青く輝く玄界灘まで見渡すことができます。



発行



福津市

〒811-3293 福岡県福津市中央1-1-1

☎42・1111 (代表)

編集

広報秘書課

印刷

久野印刷株式会社